

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
基本事項	<p>1 学習の基礎となる規則正しい生活を送る。                      ※学校に持っていくものは前の日に確かめ、準備しておく。                      ※早寝・早起き、朝の排便の習慣をつける。(高学年でも夜は10時前には寝るようにする。)                      ※しっかり食事をする。(朝食は必ず食べて登校する。)                      ※テレビ・ゲームを制限する。(やる場合は時間を決め、30分以内にするなどルールを決める。) ※携帯電話やスマートフォンは、夜の間は居間等の所定の場所に置く。</p>					
	<p>2 毎日時間を決めて机に向かい集中して学習をする習慣をつける。                      ※テレビなどを見ながらの勉強はしない。 ※字はていねいに書く。</p>					
	<p>3 今日の学習を見直し、宿題をまず最初にきちんとする。</p>					
	<p>4 テスト・ドリル・プリントなどの間違いを確認し、やり直す。</p>					
国語	●学年に応じた読書を積極的に行う。(卒業までに500冊読むことができるといいです。)					
	●<音読練習>今、習っている教科書の教材を声を出してつかえないで読めるまで何回か練習する。					
	●<漢字練習>漢字は書くことによって覚えるので、新しい漢字をていねいに何度も練習する。以前習った漢字もくり返し練習する。					
				●ローマ字をていねいに何度も練習する。		
			●国語辞典で調べる習慣をつける。			
				●漢字辞典で調べる習慣をつける。		
					●新聞を読む習慣から読解力を高め、社会への関心を広げる。	
算数	●今日習ったことをもう一度見直し、確実なものにする。					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい書き順で数字を書く。</li> <li>●生活の中で数を数える機会を増やし数に慣れる。</li> <li>●10の補数(いくつといくつで10になるか)がぱっと言えるようになるまで覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●繰り上がり・繰り下がりのたし算、ひき算を確実にできるようにする。</li> <li>●かけ算九九を確実に覚える。</li> <li>●生活の中で長さや時刻を使い、慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かけ算九九を確実に覚える。</li> <li>●3けたのたし算・ひき算をできるようにする。</li> <li>●2けたのかけ算の筆算をできるようにする。</li> <li>●生活の中で長い長さや時間に慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かけ算の筆算(3けた×2けた)をできるようにする。</li> <li>●わり算の筆算(3けた÷2けた)をできるようにする。</li> <li>●三角定規・コンパス・分度器に慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小数のかけ算・わり算の筆算をできるようにする。</li> <li>●文章問題をたくさん解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算をできるようにする。</li> <li>●文章問題をたくさん解く。</li> <li>●苦手な問題をたくさん解く。</li> </ul>
その他	●生活科の「お手伝い」等に家庭で取り組む。					
	●植物を育てたり虫を飼ったりし、記録をつける。		●各教科の教科書や資料集を読む。		●社会や理科や総合的な学習の時間の学習内容にかかわる読書やテレビ番組を視聴する。	
●家族や友達について考える。						
●伝統的な行事や地域の行事に参加する。						
●社会:難しい言葉の意味を調べる。図や写真、表から分かることを考え、まとめる。都道府県名やその位置を覚える。						
●理科:学習したことをまとめる。						
●家庭科:学習したことをやってみる。(洗濯・裁縫・料理等)						
●各教科や総合的な学習に関する本や教科書・資料集を読む。						
●歴史・動物・植物等に関わるテレビ番組を視聴する。						
●日本や他国のことを知る。						
ご家庭のかかわり	●国語の音読を聞いて、アドバイスしたり、ほめたりする。					
	●宿題をするよう声をかけるとともに終わったかどうかを確認する。					
	●学用品の点検をする。					
	●子どもだけに読書をさせようとするのではなく、よい本をすすめ、時には一緒に読書をする習慣をつける。					
●宿題を必ずチェックし、間違いはその場で直させる。	●宿題をやり終えたらチェックする。	●親子で読書や読み聞かせをする。	●社会や理科などの調べ学習の助言をする。	●家庭科の実践を、一緒に行う。	●リビングに国語辞典と地図帳を!家庭生活の中で国語辞典や地図帳を使うように心掛ける。	
●計算カード等で反復練習するとき、点検をする。	●読み聞かせをする。		●学んだことを生活に生かすための助言をする。			